

高谷中学校ブロック

第4回義務教育学校の設置に関する検討委員会

令和2年9月12日（土） 13:30～15:30
信篤公民館 第2会議室

第4回検討委員会の主な内容

- 義務教育学校の設置に関する検討の中間報告会について
- 小中一貫教育の推進・義務教育学校の設置について
- 二俣小学校の移転について

1 委員長挨拶

2 報告

- (1) 中間報告に係る動画配信について
- (2) 中間報告会での質疑・応答について

3 協議

- (1) 小中一貫教育の推進・義務教育学校の設置について
- (2) 二俣小学校の移転について

4 その他

高谷中学校ブロック 第5回義務教育学校の設置に関する検討委員会の予定

- 日時：令和2年11月下旬 13時30分から15時00分（予定）
- 場所：信篤公民館（予定）

1 報告

(1) 中間報告に係る動画配信について

・配信した動画の視聴（約20分）

①小中一貫教育について

②二俣小学校の課題について

(2) 中間報告会での質疑・応答についての概要【別冊資料1】

・実施日：7月28日（火）、8月1日（土） / 合計43名の参加

・会場：信篤公民館

○スクールバス・コミュニティバスについて	<ul style="list-style-type: none">・バスのルートについて、保護者などの意見を反映して決めてほしい。・バスが走る時間帯や運行回数、夏休みなどの長期休業の対応など、具体的に示してほしい。
○通学路の危険性について	<ul style="list-style-type: none">・今の通学路の整備をしてほしい。・バスがあるから解決ではなく、歩いてでも行けるように整備が必要。・周辺環境の改善が必要。
○二俣小学校の移転後の学校運営について	<ul style="list-style-type: none">・小学生と中学生が一緒になることに不安がある。・教科担任制の具体的な方法を知りたい。・教科担任制を導入することについて問題点はないのか。・クラブ活動や部活動はどうなるのか。・信篤小との分離型では、教育効果やメリットが減ってしまうのではないのか。・分離型ではリモートなどもシステムなどを導入するなど、最善の方法を検討して欲しい。・二俣小と信篤小が一体になる方がいいのではないのか。・小学5年生への課題について知りたい。・二俣小で一貫校はできないか。
○学習について	<ul style="list-style-type: none">・他の学区から入ってくる子供の学習への不安。・義務教育学校の特例（先取り授業など）はできるのか。
○具体的なスケジュールについて	<ul style="list-style-type: none">・二俣小を高谷中に移転してから、一体化するまでのスケジュールを示してほしい。・塩浜学園が開校するまでのスケジュールを教えてください。
○校舎について	<ul style="list-style-type: none">・高谷中に移転した際にできる校舎はプレハブか。・一体型になったときの校舎の場所はどこか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・3校とは別の場所に一貫校を作る考えはあるのか。 ・中規模の一貫校を2つ作る案はないのか。
○街づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・土地計画などの問題はどうか。
○学区について	<ul style="list-style-type: none"> ・市を跨いだ学区の選択はできないか。 ・他の学区から入ってくる子への対応はあるのか。
○保護者等の意見の反映について	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を吸い上げたら、しっかりと反映して欲しい。 ・意見に対する回答が欲しい。
○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所としての機能はどうか。 ・自転車通学は検討しているのか。 ・マイカーでの送迎は可能なのか。

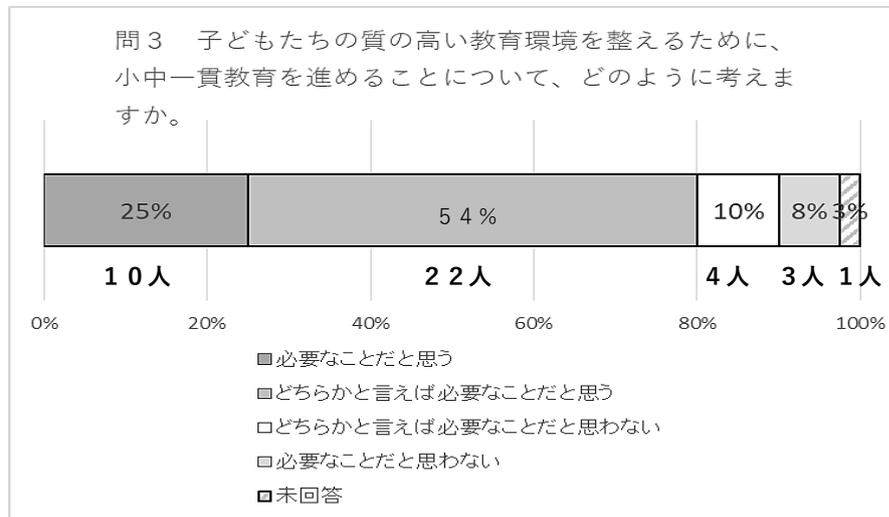
2 協議

(1) 小中一貫教育の推進・義務教育学校の設置について

① アンケート結果

ア 中間報告会で実施したアンケート結果【別冊資料2】

○集計結果 回答数40件／参加人数43名（ご夫婦での参加等有り）



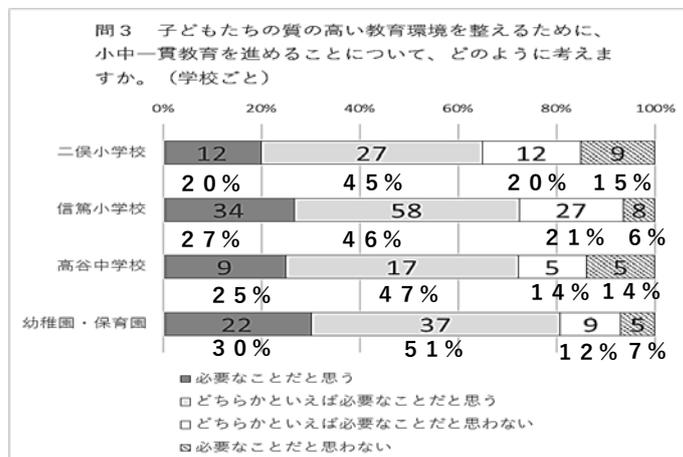
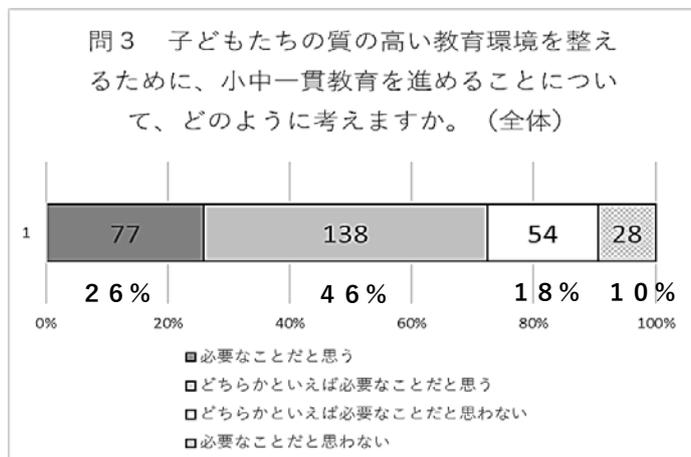
回答の結果から、全体では「必要」「どちらかといえば必要」の割合が約80%、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」の割合が約18%であった。

イ 教育委員会アンケート：小中一貫教育の推進【別冊資料3】

○集計結果 回答数297件／配布家庭数 約1700件

○小中一貫教育の推進について

※整理番号の入力ミスのため、合計が一人少ない

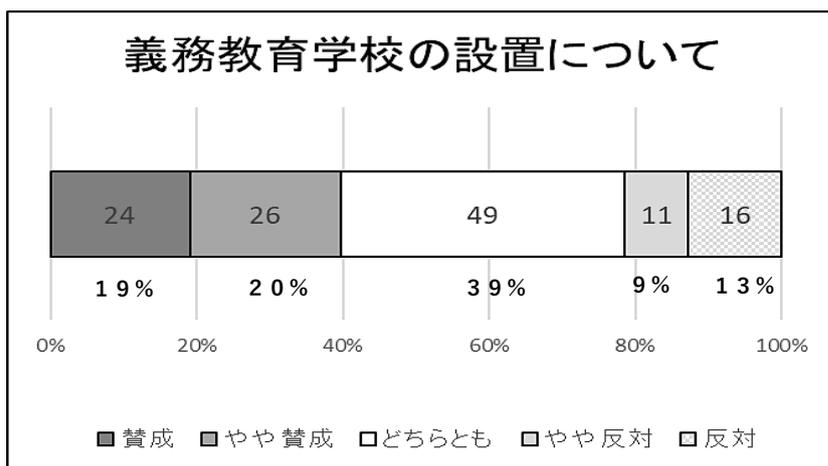


回答の結果から、全体では「必要」「どちらかといえば必要」の割合が72%、「必要ない」「どちらかといえば必要ない」の割合は27%であった。

また、学校別では、二俣小学校が65%、信篤小学校が73%、高谷中学校が72%、幼稚園・保育園が81%が「必要」「どちらかといえば必要」と回答している。

ウ 二俣小学校学校運営協議会アンケート：義務教育学校の設置【別冊資料4】

○集計結果 回答数126件／配布数184件（二俣小学校の全家庭に配布）



回答の結果から「賛成」「やや賛成」の割合が39%、「どちらともいえない」が39%、「反対」「やや反対」が22%であった。

○「賛成」「やや賛成」の理由

先取学習などが出来る。
教育の幅が広がると思う。
色々な世代の交流ができる。
小中一貫で小5から中1くらいまでの枠が出来る方が近い学年との交流や学びがあって良いと思う。
弟と同じ学校になり、一緒に登校できる。
生徒数が少ないので、新しい制度への期待がある。
メリットも多いと思う。
学習面で期待できることが多いものの、小6の存在が薄れてしまうことが少し心配。小学校高学年としての責任感など。
子供が少ない中で信篤と一緒にのほろがありがたいが、施設が違ふと意味があるのか？
小学校から中学校への環境変化が少ないのが良いと思う。
メリットに共感できる。
1クラス当たりの人数は少なくしてほしい。
新しい試みで良いと思う。
遠くなる子がいたらかわいそう。
子どものストレスや学習においてメリットがあるなら取り入れも良いと思う。
教員の負担が減ると聞いた。子ども達の環境も良くなると思う。
二俣小の人数が少なすぎ。
学力向上が期待できるなら良いと思う。
説明動画がメリットばかりだったので信用できないとも思った。

○「どちらともいえない」「反対」「やや反対」の理由

中学受験しにくくなるが、色々な年代の子と関われるのは良いと思う。
小中一貫の経験がないので、よくわからない。
一貫校にすれば質の高い教育になると言っているが、その学校の先生、生徒による部分が大きいと思うので、一概に良いとは言い切れないと思う。
メリットしかデータが示されていない中で良い悪いの判断が出来ない。
低学年の場合は、色々心配があるため。のびのびと学校生活が今まで通りに遅れるか心配。
子ども達への環境の変化が大きいと思うので、そのケアが大切だと思う。
必要性を感じられない。
双方にメリットがあるのでどちらでもよい。
出来なかったことを先延ばしにしてしまいそう。
メリット、デメリットが明確になっていない。
2022年度から小学校5、6年の教科担任制の検討で必要性を感じない。
コロナで行事なども中止が増え、一貫校の設置より検討することがあると思う。
学力がある、自己肯定感が増える。信用できない。本当に全員？
よくわからない
良いと思うがメリットが全く分からない。塩浜学園が成功したように伝えているが、それが全国平均なのか市川の平均なのかわからなくて気軽に賛成できない。
経験したことがないのでわからない。
少人数の学校が子どもにとって良いと思って学校に通っているのに、先生にも学校にも恵まれた今の環境に満足してしているため、変化することが不安に感じます。
6年生の区切りがなくなったり、6年生の楽しみがなくなる。
良さがわからない。
二俣小を無くす方向ではなく、信篤小からの学区改正という考えは何故なのか。
中学受験や6中を考えている場合一貫教育はどうなのか。
9年間同じ環境で過ごした後、多感な時期に6歳以来、初めて新たな環境（高校）にも臨むことに不安。

しなくても。
学区の真ん中に設置できるとは限らず、通学の心配。
二俣小と高谷中を同じ敷地で信篤小が移転無しならば、意味がないのでは。
設置が決まっているなら、ハッキリとした計画書を出して欲しい。
市の方針が決まっていますが、納得してもらってからとか意味がわからない。
メリットがない。
二俣小の統合と小中一貫は別の問題。同時に解決しようとするから問題が起こると思う。
新校舎建設もバスも税金の無駄遣いと考えます。まずは信篤に吸収してから再検討してください。
少人数の素晴らしさを感じているので小中一貫にする必要性を感じない。
メリットよりもデメリットが多いと思う。
二俣小と高谷中だけならわかりますが、信篤小まで入れて考えるのは無理があると思います。
一つの建物ならまだしも、分かれて運営するなら意味がない。
中1ギャップの緩和が期待できるという説明を受けたがあまり意味がないように感じる。
小学校や中学校の独自の特色が生かせない。

② 今後の検討の方向

- ・義務教育学校の設置に関する方針が示すように、これからの教育には、小中一貫教育推進が必要であること。また、市内全体で推進を図る必要があること。
 - ・小学校高学年への教科担任制の導入など、小中の連続性の強化は、国の方向性でもあること。
- 【別紙資料4】
- ・中間報告会で実施したアンケート結果では80%以上が、また、教育委員会実施のアンケートの結果では、70%以上が「必要」「どちらかといえば必要」と答えており、設置に関する理解が図られていること。特に、今後、関わりが大きくなる就学前児童の保護者の理解が高いこと。
 - ・二俣小学校学校運営協議委員会実施のアンケート結果では「どちらとも言えない」を除くと、肯定的に捉えている割合が高いこと。



高谷中学校ブロックでは、将来的に高谷中学校、信篤小学校、二俣小学校による義務教育学校を設置する方向で検討を進める。

○設置の推進に当たって留意すべき事項

二俣小学校学校運営協議実施のアンケートの「どちらともいえない」の主な理由では、「一貫校の経験がないのでよくわからない」といった意見や、「メリットやデメリットをもっと知りたい」といった意見が多くあったことから、義務教育学校の設置にあたっては、今後もより具体的で丁寧な説明が必要である。

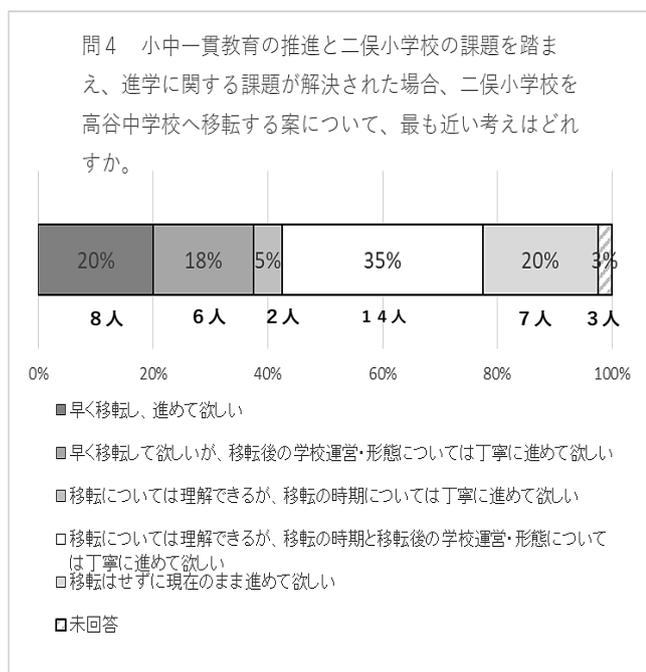
(2) 二俣小学校の移転について

①アンケートの結果

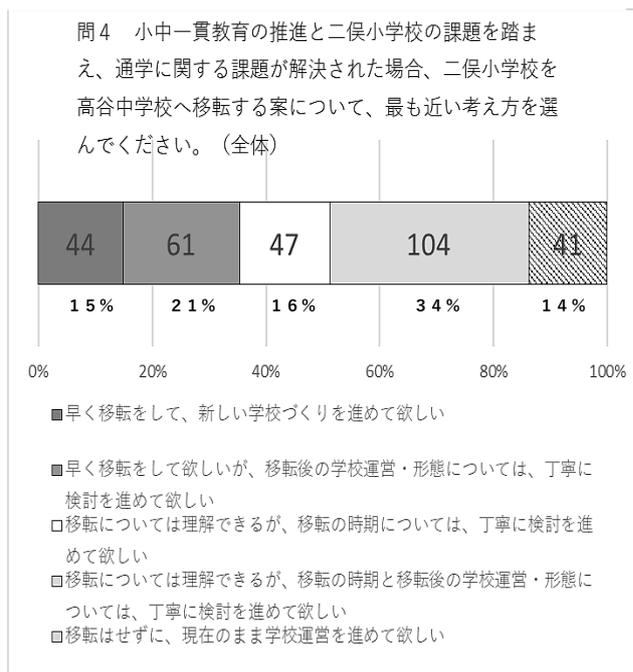
ア 中間報告会で実施したアンケート結果【別冊資料2】及び、

教育委員会アンケート結果【別冊資料3】

○中間報告会で実施したアンケート結果



○教育委員会アンケートの結果



○「早く移転を進めて欲しい」の割合及び主な理由

- ・中間報告会：割合は約20%であり、理由としては「専門分野での授業は能力向上に有効的だと思った」「友達が多い方がいい」「落ち着いた環境で通学させたい」などの意見があった。
- ・アンケート：割合は約15%であり、理由としては「早く中学校に慣れさせたい」「二俣小の人数不足が心配」「友達が多い方がいい」「進めるなら早く行い、子供たちを混乱させたくない」などの意見があった。

○「早く移転を進めて欲しいが、移転後の学校運営・形態については丁寧に進めて欲しい」の割合及び主な理由

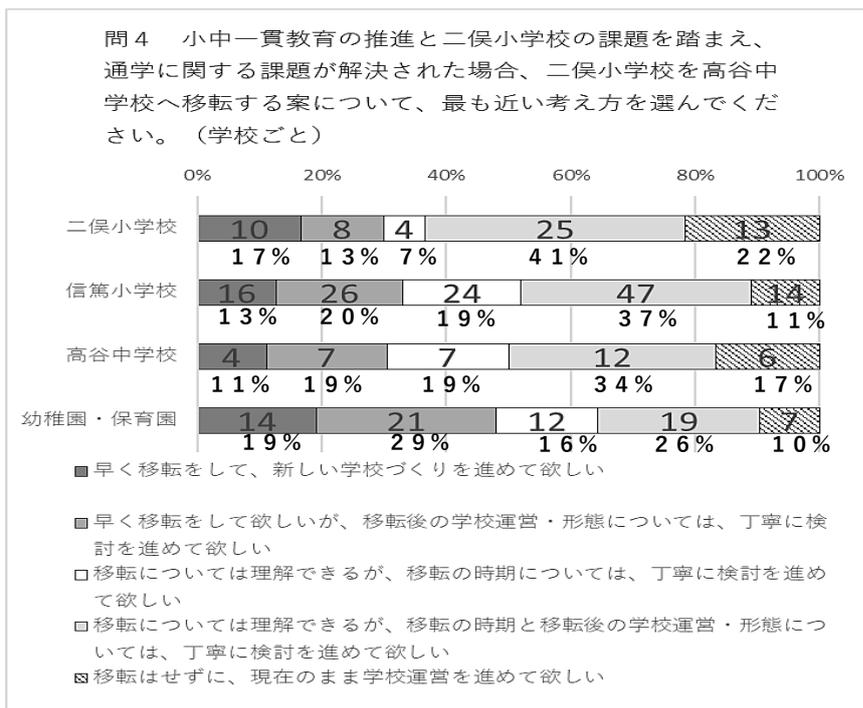
- ・中間報告会：割合は約18%であり、理由としては「継続してより良い環境を整えてほしい」「運営が定まってから進めていきたい」「子供が戸惑わないよう、移転にギャップをなるべく少なくしてあげて欲しい」などの意見があった。
- ・アンケート：割合は約20%であり、理由としては「新しい環境に早く慣れさせたい」「子どもたちの不安をなくしたい」「通学路が危険なため」「教科担任制など学力向上につながる」「課題の解決を図ってほしい」などの意見があった。

- 「移転については理解できるが移転の時期については丁寧に進めてほしい」の割合及び主な理由
 - ・中間報告会：割合は約5%であり、理由は「帰宅までの移動の制限」「自由が減る」などの意見があった。
 - ・アンケート：割合は約15%であり、理由としては「急な変化で子どもたちに負担がかからないようにしてほしい」「通学路や移転先の環境を整えてから行ってほしい」「二俣小学校の保護者の意見を尊重したい」などの意見があった。

- 「移転については理解できるが『移転の時期』や『移転後の形態』は丁寧に検討をして欲しい」の割合及び主な理由
 - ・中間報告会：割合は35%であり、理由としては「通学や学区の運営方法がクリアにならないと効果が薄い」「同時にスタートして欲しい」「保護者や生徒の意見を聴いてもらいたい」「最終的にどうするのか」「引退された先生や地元のボランティアを教育に活用して、先生の負担を減らせないか」などの意見があった。
 - ・アンケート：割合は35%であり、理由としては「移転について理解できたが、今後の具体的な計画が知りたい」「通学の問題の解決が必要」「子ども精神的な負担の軽減、混乱がないようにしてほしい」「具体的な学校運営がどうなるのかを知りたい」「二俣小の子どもたちや保護者に負担がかからないようにしてほしい」などの意見があった。

- 「移転はせずに現在のまま進めてほしい」
 - ・中間報告会：割合が約20%であり、理由としては「通学についての課題の解決とは誰から見て解決したといえるのか」「道路が冠水するところが通学路にあるが、現段階でそこまで検討しているとは思えない」「通学路の問題が解決しても、参観日やケガや体調不良で子どもを迎えに行くにも距離を感じる」などの意見があった。
 - ・アンケート：割合は約15%であり、理由としては「現状に満足、不満はない」「通学路の問題が何も解決していない」「人数が増えることへの不安」「まだよくわからない」などの意見があった。

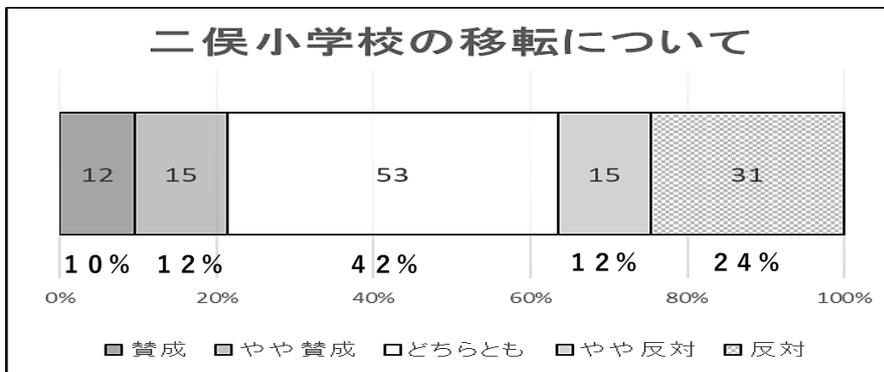
ウ 教育委員会アンケート 学校ごとの結果



※整理番号の入力ミスのため、合計が一人少ない

エ 二俣小学校学校運営協議会アンケート

○集計結果



結果から「賛成」「やや賛成」の割合が22%、「どちらともいえない」の割合が42%、「反対」「やや反対」の割合が36%であった。

○「賛成」「やや賛成」の理由

学校が近くなる。
保育園の友達が信篤小にいます。距離に近いため。
歩道橋を使用しないで通学できるようになる。
中学へ進学するときに親しみやすい。
通学路が今より安全。大通りを歩くのは危険なので、真間川沿いが通学路になるなら他の敷地へ移転に賛成です。
市の決定事項であるなら反対はありません。通学の安全面が心配
移転に不満はないが、移転先が決まっていないのでどこに行くかわからないまま話が進むのは不安です。
移転決定した場合は早くしてほしいです。
遠くなるのが不安。

○「どちらともいえない」の理由

通学路が心配
実際に始まらないとよくわからない
通学手段について、確実な安全、利便性があることが大切だと考えます
校舎について、どこに建つのか一旦二俣小を移してから将来的に一体型にする理由がハッキリと伝わりません
通学の安全が保たれれば賛成します。遠くなるため、体力的不安もあります
近くなるわけでもなく、少人数に良いところも悪いところもある
移転にあたりバスは必要だと思うが、どうしても徒歩などの場合、高谷中裏門から真間川までの道路整備が不可欠だと思う
通学の心配。バスといっても自由が利かなかったり、密になったりとうまくいくのか。
友人関係が上手くいくかが心配
災害や通学路など1年を通して子どもの立場で考えていただけているのだろうか？
他に候補地はないのか？
子ども目線、視野で安全かどうか今一度確認して欲しい。
机上の空論はいらない。
通学手段が確保されるなら賛成します。
通学距離や安全面、特に低学年。
具体的に決まっていなくてどちらともいえない。
環境や安全面を考えると少し不安もあるため、移転もいいと思うが、移転先の災害上必ずしもいいとは思えない。一番の問題は通学距離がさらに遠くなるため通うことが困難だと思われる。特に低学年は心配。
行事等で密になる可能性があるなら不安。
来年度中学へ上がるため、もし在学中に移転になったとしたら遠くなるため、反対していたと思います。
信篤小への移転は可能なんですか？高谷中へ決まった場合の移転は仕方ないです。

○「反対」「やや反対」の理由

遠い、バス通学も不便。
通学路の整備や安全面の説明が不十分と思う。
通学路の安全が確保されているといえない。
通学時間があまりにも長くなる。
バス案もあるが、どのルートを通るなど決まっていないので賛成できない。
通学路の安全面、環境整備をしっかりとしてほしい。
二俣小よりも更に遠い。
スクールバスがないと通えない。
地域の学校がなくなることは児童だけでなくPTAや学校行事に参加する保護者にとっても通うことに負担増になる。
通学路が今より危険になる。
移転先周辺の環境を小1でも通学できるようにしないとダメだと思う。
少人数でいじめ問題とか、人間関係非常に良くて、子どもにとって一番大事だと思う。
多くなることでいじめが心配。
少人数の良さがなくなる
コロナのこともあり、大規模は不安。
敷地があると思わないし、コロナの状況もあり、大規模な学校に不安を感じる。
給食も中学と二俣、信篤の分を1カ所で作って提供するのを知りたい。
バスのルートも決まっていないのに賛成できない。
通学時間が長い。バス停まで、バスの所要時間、渋滞はどうするのか？
バスが必要なほど遠い学校には通わせられない。
バスがないと通えない。
歩いては行けない距離になる。
周辺の安全に対する環境が悪すぎます。事件が起こるのは目に見えています。
中学生でも危ないところなのに、小学校からはありえません。周りの状況をよく見て、改善してからの話にしてほしいです。
通学、バス利用、保育クラブ送迎、PTA、あさがお持ち帰りなど、遠くて負担。遅刻、早退時困る。保育クラブから習い事、1人帰りができなくなる。
バスはどうなるのか？
通学路の不安が消えない限り賛成できない。
歩道がない、すぐに冠水、押しボタン信号。
片道1時間程度かかる見込み。交通量の多い道路を必ず通らなくてはならず、安全面での不安が大きすぎる。熱中症も怖い。

② 今後の検討の方向

- 教育委員会実施のアンケートから「早く移転をして、新しい学校づくりを進めてほしい」「早く移転をして欲しいが、移転後の学校運営・形態については丁寧に検討を進めて欲しい」「移転は理解できるが『移転の時期』と『移転後の学校運営・形態』については丁寧に検討を進めて欲しい」と回答した割合が約85%であり、移転の理由や背景については概ね理解が図られている。
- 特に就学前の幼稚園・保育園の保護者からは、「子どもたちに負担をかけないように早く進めて欲しい」という意見が多くあった。
- しかし、「移転時期」や「移転後の学校運営・形態」、「移転時期」については、丁寧に検討を進めて欲しい」と考えている保護者は、教育委員会アンケートで70%以上おり、二俣小学校学校運営協議会が実施したアンケートでも「どちらともいえない」と回答している保護者が約40%以上いる。

移転の時期や移転後の学校運営形態など、移転に係る具体案を示す必要がある

- また、教育委員会が実施したアンケートの「移転しないで欲しい」の主な理由には「通学に関する課題」が圧倒的に多く、具体的にどのように解決するのかを知りたいと考えている保護者が大多数であった。
- 二俣小学校学校運営協議会が実施したアンケートでは「通学に関する課題が示されていないこと」「バスの具体的な案が示されていないこと」などが「反対」「やや反対」の主な理由となっている。

通学に関する課題の解決は必須であり、具体的な案を示す必要がある

以上のことにより、

- 二俣小学校の移転については、継続して協議をする必要があります。
- 今後、通学等の課題の解決策や移転の時期、移転後の形態など、移転に係る具体案を検討委員会で検討し、改めて保護者に示して広く意見を聞き、その意見踏まえて検討委員会で協議していくこととします。
- 広く意見を聞く方法としては、説明会の開催やアンケート調査の実施等を考えています。
- 具体案については年度内を目途に保護者に示せるよう、検討をすすめます。